

差別問題を考える

ハンセン病問題 自主ゼミナール

参加
無料

Zoom開催

国の「ハンセン病に係る偏見差別解消のための施策検討会」が動き出しました。ここまでには、2001年のハンセン病国賠訴訟、2019年のハンセン病家族訴訟など、回復者や家族のみなさんの闘いがありました。

このチャンスを生かして、日本の差別問題をめぐる状況を前に進めたい。

偏見差別の解消のために、なにが必要なのか？ ハンセン病問題に関心ある人々はもちろん、他の差別問題に取り組んできた人々も一緒に、知恵を出しあう「自主ゼミナール」を開催します。

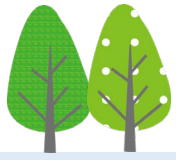
毎月2回。詳しくは裏面→



参加希望の方は、下記アドレスまでご連絡ください。

yfukuoka196869@gmail.com (福岡)

主宰：福岡安則（社会学者、「検討会」有識者会議委員）
黄光男（ハンセン病家族訴訟原告団副団長、
「検討会」当事者市民部会委員）



「自主ゼミナール」日程



第1回 2021年8月28日(土)13:00～16:00

「ボールを投げ返された市民として」

浜崎眞実

(当事者市民部会委員、神父、ハンセン病首都圏市民の会)

太田明夫

(当事者市民部会委員、ハンセン病問題を共に学び共に闘う全国市民の会会長)

第2回 2021年9月5日(日)13:00～16:00

「ハンセン病家族訴訟と偏見・差別論」

小林洋二 (ハンセン病家族訴訟弁護団)

第3回 2021年9月18日(土)13:00～16:00

「誰が、どう、当事者の思いを伝えるのか」

林 力 (当事者市民部会委員、ハンセン病家族訴訟原告団団長、

「一般社団法人 いのちのライツ ハンセン病差別をなくす会ふくおか」代表)

*10月の企画は未定です。

第6回 2021年11月13日(土)13:00～16:00

「〈いま・ここ〉で、差別と闘う」

江嶋修作(解放社会学研究所所長、日本解放社会学会初代会長)

最初の1時間は報告者のお話を
聞きます。あとの時間は、
ディスカッションです。

いっしょに
考えてみませんか

